

東大和市立郷土博物館だより

光と風

令和5年4月1日発行 第116号
東大和市立郷土博物館
207-0031 東大和市奈良橋 1-260-2
電話 042-567-4800
FAX 042-567-4166

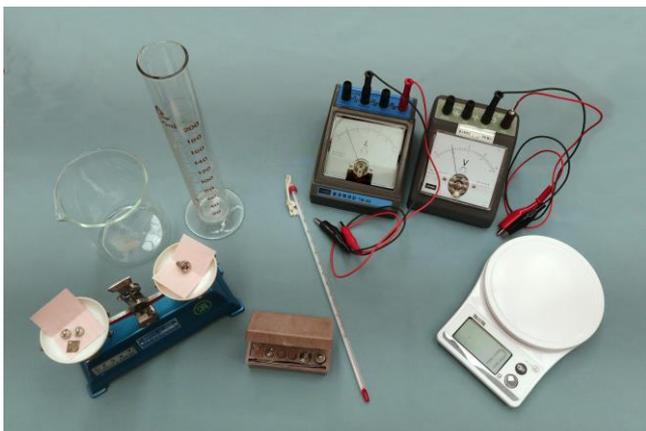
企画展示 アナログとデジタル

あなたは
アナログ派？

5月14日(日)まで
期間中の休館日 月曜日と5月2日、5月9日
会場 郷土博物館 1F 企画展示室

それとも
デジタル派？

2023年、プラネタリウムがこの世に登場して100年目にあたります。そこで、プラネタリウム投影に使われているアナログ機器、デジタル機器を紹介しします。あわせて身近なアナログとデジタルの道具を紹介しします。それぞれの優れたところを比べてご覧になってください。
あなたのデジタル活用度をはかるコーナーもあります。ぜひご参加ください。



小学校で使われている実験機器類

これは、展示物のほんの一部
です。何に使う道具か気にな
る方は、展示をご覧になっ
てください。



春の催し案内

☎マークがついている行事は、事前にお申し込みください。郷土博物館 042-567-4800 までお願いします。

ロビー展示

狭山丘陵で学んだよ

小学生が自然観察・体験をとおして学んだようすを紹介します。自然観察の後に作った詩（のはらうた）を、二小と五小の3年生からお借りして展示しています。

期間 5月7日(日)まで開催中

会場 郷土博物館エントランスホール

ロビー展示

こいのぼりがいっぱい

期間 4月22日(土)～5月7日(日)

会場 郷土博物館エントランスホール

大和八幡幼稚園、狭山保育園の子どもたちが作ってくれたこいのぼりと、職員の作ったこいのぼりが、ロビーに大集合します。皆さん、どうぞご覧ください。

☎星空観察会

月や金星をみよう

よい宵の明星、金星や月のクレーターをみます。北斗七星などもさがします。

期日 4月23日(日)／集合 午後7時 郷土博物館ロビー／定員 30人(申込先着順)／案内

星空ボランティア・博物館職員／会場 郷土博物館前

昼間の星の観察会

太陽をみよう

太陽の表面の黒点をみます。

期日 5月3日(水：祝日)／午前9時30分～10時40分(時間内ならいつでもどうぞ)／案内

博物館職員／会場 郷土博物館前

戦災建造物

旧日立航空機(株)変電所の公開

戦災建造物である変電所を、公開しています。どうぞお越しください。

公開日 水曜日・日曜日

時間 午前10時30分～午後4時

また、工場が攻撃を受けた4月19日(水)と24日(月)は、ライトアップを行います(内部の公開は行いません)。ぜひ、お越しください。

時間 午後6時30分～午後7時30分

場所 都立東大和南公園内

☎自然観察会

バードウォッチング

キビタキやセンダイムシクイなど春の渡り鳥を探します。

期日 4月30日(日)／集合 午前8時 郷土博物館前／持ち物 筆記用具・双眼鏡／講師 大庭健二さん(都市鳥研究会幹事)・柴田佳秀さん(日本鳥学会会員)・永石文明さん(東京農工大学講師)／観察地 都立東大和公園 お昼頃解散します。

☎自然観察会

野草教室

初夏の雑木林で、コアジサイ、サイハイランなど植物観察をします。毎回好評のスライド解説もお楽しみに。

期日 5月21日(日)／集合 午前9時30分・郷土博物館会議室／持ち物 筆記用具／講師 下田治信さん(認定NPO法人KU-MA会員)／観察地 市立狭山緑地 お昼頃解散します。

ご来館の皆様へ

○入館の際には手指のアルコール消毒をしてください。

○37.5度以上の発熱など、体調の優れない方は来館をお控えください。

ご協力お願いいたします。

国の登録有形文化財

旧吉岡家住宅 春の公開

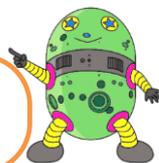
～日本画家吉岡堅二の息吹が感じられるアトリエ～

郷土の日本画家・吉岡堅二の作品と旧宅を公開します。文化財ガイド、ワークショップ「葉っぱのスタンプ」(午前中のみ)を行うほか、クイズや塗り絵、ひとり歩きガイドを配布します。ぜひ、お越しください。

期日 5月26日(金)～28日(日)/時間
午前10時～午後4時/会場 旧吉岡家住宅
(東大和市清水3-779)/入場無料



プラネタリウム春番組



6月11日(日)まで好評投影中

どの番組も、前半は季節の星座解説です
☆夏番組は6月18日(土)から投影します。

* 投影途中での入退場はできません。

時間に余裕を持ってお越しください。

投影内容は変わることがあります。

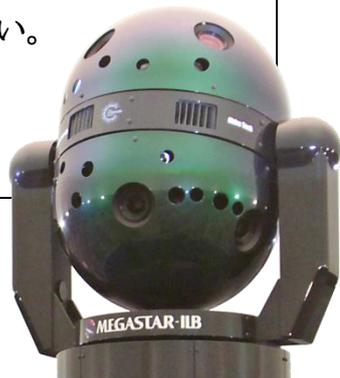
* 観覧券は午前9時から販売します。

券売機でお求めください。

☆観覧料 大人 300円

小中学生 100円

未就学児は無料



こども番組 ほしみるおじさん

～みじかなうちゅうのおはなし～

朝起きて、ごはんを食べて、はたらいて…。おじさんとうしくんの一日をとおして、身近な宇宙を感じます。絵本のようなイラストの世界を大人の方もお楽しみください。季節の星空もたくさん紹介します。投影時間は40分程度です。
投影日時 土・日・祝日午前11時～

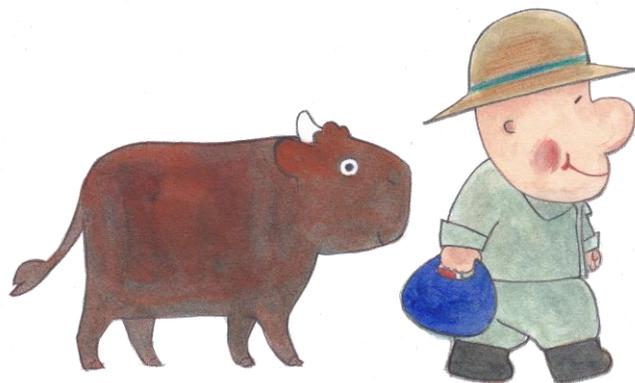


イラスト もりなお

一般番組 水の惑星

地球は、生命にあふれた海をもった特別な星です。ニューカレドニア、タヒチ、パラオ、御蔵島など世界各地で撮影した星空映像と、イルカなどの水中映像が広がります。太陽系に存在する氷の天体も、迫力あるコンピュータグラフィック映像でお楽しみください。投影時間は45分程度です。

投影日時 平日午後3時～と、土・日・祝日午後1時～、午後3時～



(C) KAGAYASudio

博物館カレンダー

まちの文化財

あんなもの
こんなもの

郷土博物館は4月～6月のあいだ、次のように開館します。■は休館日です。

6月13日～16日は資料消毒作業のため、博物館はお休みさせていただきます。

	日	月	火	水	木	金	土
4 月							1
	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
	30						
5 月		1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30	31			
6 月					1	2	3
	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	

桑



写真は、博物館の展示用桑の葉と蚕の模型

このあたりの村々は、水田が少なく畑作が主でした。畑では麦やイモ類、大根など自家用の作物のほかに、現金収入のための作物が作られていました。江戸時代後半になると、木綿の縞織（しまおり）が盛んになり、それに伴い染料の藍の生産、そして養蚕も行われるようになりました。しかし、できた繭は糸にして織るのではなく、その多くは仲買人によって繭のまま買い集められ、所沢や八王子へと運ばれました。

明治時代以降も養蚕は行われていましたが、作付面積や、生産高から見ると大麦・小麦・粟・稗などの自家用作物が中心でした。しかし、大正時代には、農業の中心は自家用の穀物生産から養蚕へと移り、桑畑の面積も繭の生産額も飛躍的に増えました。昭和15年の地図にはたくさんの桑畑の記号が記されています。しかし化学繊維の発達もあり、時代とともに養蚕農家は減少し、かつて養蚕農家だったと思われるお宅は残っているものの、養蚕は過去のものになりました。

昨年末まで芋窪街道と新青梅街道の交差点の角に残っていた桑の木が、モノレールの延伸工事のためでしょうか切り倒されてしまいました。地域の歴史を物語る文化財が一つ消えました。(桐原)

この春の天文ショー

夕方の西の空に金星が「宵の明星」として明るく輝いています。その近くに、ほかの天体がみえることがあります。4月中旬はすばる（おうし座の星団）が、5月23日には細い月が、6月22日には月と火星が近くにみえます。5月6日の明け方には、月の北西の端が少し欠ける「半影月食」が起こります。肉眼ではわかりにくいのですが、写真に撮ると少し暗くなっているのがわかると思います。一番欠けるのは午前2時23分です。詳しくは『星だより』をご覧ください。(野崎)